

より豊かで 幸せな暮らしを目指して、 『次世代の人づくり』をテーマに 社会へ貢献。

当行の社会文化活動の歴史は古く、

創業者・安田善次郎が掲げた

「社会公共のために尽くす」の精神が

今日まで脈々と受け継がれています。

現在は『次世代の人づくり』をテーマに、

教育、交通安全、文化支援、国際交流、社会福祉、

ボランティア活動支援など、

さまざまな分野における社会文化活動に

積極的に取り組んでいます。

「黄色いワッペン」を 全国の小学校1年生に贈呈



当行は毎年、全国の小学校に入学する新一年生に交通事故傷害保険付き「黄色いワッペン」を贈呈しています。これは当行が昭和40年に創業85周年を記念して始めた交通安全事業で、翌年には安田火災海上保険、安田生命保険、翌々年には安田信託銀行が加わり、今日に至っています。今年で36回目の贈呈となった「黄色いワッペン」の累計枚数は4,461万枚に達し、今では親子2世代にわたって受け取るケースも増えています。また、この「黄色いワッペン」は、トウモロコシのでんぷんから作った、土にかえる環境にやさしい素材を使用しています。

富士記念財団の社会福祉助成事業



創業100周年の記念事業として昭和55年に設立された富士記念財団では、社会福祉に関する助成金の贈呈、視覚障害をもつ大学生のための点訳介助事業、電動車椅子の贈呈を実施しています。これまでに贈呈した電動車椅子の数は470台となりました。また、同財団では当行役職員の寄付金をもとに、特別事業としてリフト付きバスやマイクロバスなどを心身障害者施設に贈呈しています。すでにその数は累計165台となりました。

「成人の日コンサート」の開催



当行は芸術・文化支援活動の一環として、毎年「成人の日コンサート」を開催しています。このコンサートは、有望な若手音楽家の支援と次世代を担う若い方々にクラシック音楽に接する機会をもつていただくことが目的です。11回目を数えた今年も新成人やそのご家族に加え、視覚障害をもつ大学生などを多数招待しました。また、コンサートの売上金の一部を「日本障害者芸術文化協会」を通じて障害をもつ方々の音楽グループに寄贈しました。

奨学金制度の導入で人材育成



創業110周年記念事業として平成3年に設立された富士銀行国際交流奨学財団では、平成11年度は日本で学ぶ外国人留学生を対象に合計20人、1人当たり月額12万円の奨学金を支給しました。また、平成7年度からは海外(アジア諸国)の大学で学ぶ学生を対象にした奨学金制度を創設し、毎年奨学金を支給しています。

「全国小中学生環境絵画コンクール」の開催

当行は平成9年より、安田生命保険、丸紅、全国小中学校環境教育研究会と協力して、「全国小中学生環境絵画コンクール」を開催しています。「みんなでつくろう住みよい街」「みんなで守ろう大切な自然」をテーマに実施されるこのコンクールの入賞作品は、当行本店地下のギャラリーにおいて一般公開しました。

行員有志のボランティア活動を支援

「ボランティア活動に参加したい」という行員の要望に応え、平成5年度からボランティア休暇制度の導入などによってその活動を支援しています。また、当行のニューヨーク支店と富士銀行信託会社では、CRA(金融関連企業に地域社会への貢献を義務づけた米国の法律)のもとで、従業員有志がボランティア活動に積極的に取り組んでおり、銀行としてもその活動を積極的に支援しています。平成4年度には、この地道な活動が高く評価され、外国銀行として初めてCRA格付ランキングの最上級を取得しました。以降8年間、連続して同様の評価を獲得しています。

CRA(地域再投資法)

The Community Reinvestment Actの略。この法律は、通常の銀行融資になじみにくい低所得者層への住宅融資や、開発の遅れた地域への融資を拡大する目的で制定されたものです。各銀行の融資・寄付の実績や地域でのボランティア活動など、その地域への貢献度に基づいて、傑出している 満足できる 改善の要あり 大幅不履行、の4段階で評価されます。

英、米、中国で冠講座を開設



当行は平成3年、ケンブリッジ大学やシカゴ大学に冠講座を開設し、それぞれの地域に根ざした活動として高い評価を受けています。また、平成7年には、北京の中国金融学院に「富士銀行国際金融経済講座」を開設し、毎年4年生を対象にした3日間の集中講座を実施しています。中国金融学院は、人民銀行など中国の主な金融機関が共同で設立した金融専門の大学です。今後ますます著しい発展を遂げる中国の金融・経済の分野において、この卒業生たちの活躍が大いに期待されています。

行員有志による募金活動を実施

当行では、毎年、行員有志による募金活動を実施しています。今年も、日本点字図書館(点字図書・テープ図書の作成)日本盲導犬協会(将来盲導犬となる子犬の購入)東京交通安全協会(チャイルドシートに関する助成金など)に寄贈しました。また、トルコ・台湾の大地震の際には、全行をあげて募金活動を行いました。寄せられた救援金は、被災地のための救援物資購入や医師団派遣の費用として役立てられました。